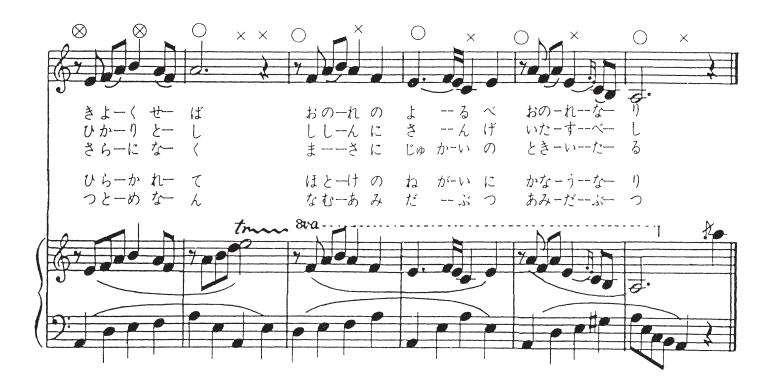
授 戒 御 和 讃

ポイント注意 授戒会の次第に添ったお唱えです。4番は詩吟か、又は6拍子の曲かどちらでも結構です。「3番」の終りの「ときいたる」の「る」音より5度上の音が「4番」の出の音となります。この楽譜に拘らなくても結構ですが、テンポはあまり遅くならないように。6拍子譜の場合「諸仏のみ子なり」は「くらいに入る」の旋律で。合唱として唱えなくても結構です。

池 上 霊 心 作詞松 濤 基 作曲





授税和讃

池上 霊心 作詞

- ① 煮しきはすべて 為す笏れ 善き事広く 行ずべし 質ら心を 夢くせば ごのよるべ ごなり 一七仏通誡の偈ー
- ② 人管必ず み仏と なるべき性を 真するなり 三つの笠を 光とし 室心に懺悔 致すべし ー開導・三帰・請師・懺悔ー
- ③ 菩提の心 雄々しくて 四つの響を なし遂げぬ 七つの障り 更になく 正に授戒の 時到る

一発心・問遮一

4 衆望 仏戒を受けぬれば 即ち諸仏の 位に入る 位 学覧に同じ誓りなば 質に違 諸仏のみ字なり

一正授戒一

- ⑤ 戒を保持せば 首らなすべからざる 道は閉じ なすべき行く手 開かれて 仏の願に かなうなり一証明・現相・説相・広願ー
- ⑥ つつしみ脳み たゆみなく 念仏の声に 身をまかせ 仏への道 つとめなん なむあみだぶつ 阿弥陀仏

一勧持・念戒一致一



